

## シエンタ モデリスタ バージョン

## フロントスポイラー 取付要領書

設定型式:MXPC1#G、MXPL1#G 設定グレード:全車

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。  
本書は、**フロントスポイラー**の取付要領について記載してあります。  
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なって下さい。

## 取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行なわないで下さい。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品に傷を付けたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なって下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- 商品を取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へ商品を取り付ける際は、左右1名づつ2名で作業を行なって下さい。
- エンドモール(両面テープ付き)・両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- 両面テープの接着力促進剤として、**必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。**  
(PACプライマーN-200、K-500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置し乾燥させて下さい。**
- 重要** ■両面テープは、**外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なって下さい。**
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープのプライマーは、**塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で完全に拭き取って下さい。**
- ボディーコートが塗布されている車両は塗装用コンパウンドでボディーコートを剥離して下さい。**  
(必ずマスキングし、なるべく細かい番手で行なう。) ボディーコートが塗布されている車両は脱脂作業を行なっても、プライマーの接着力促進効果を十分に発揮できない場合があります。ボディーコート除去後は、イソプロピルアルコール(IPA)等で脱脂をきちんと行なって下さい。
- 重要** ■**両面テープの圧着を充分に行なって下さい。49N(5kgf)**
- 重要** ■**フェンダーアーチ部等のビス本締めは両面テープ貼り付け後3時間以上放置後行なって下さい。**

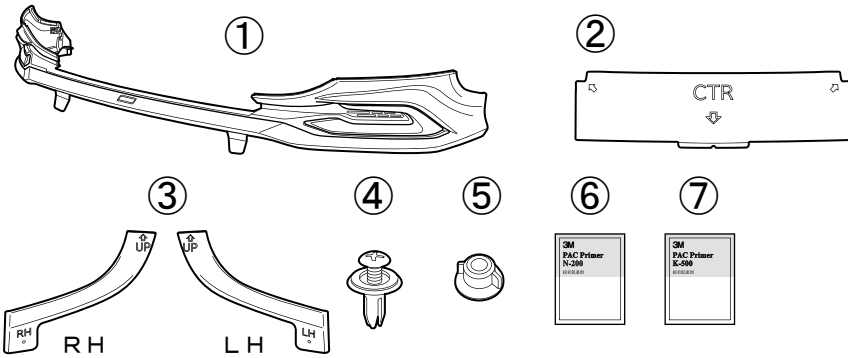
## 取り付け完了後の点検・注意事項

- フロントスポイラーが、車両バンパーに確実に共締めされているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、**確実に圧着されているか点検して下さい。**
- 取り付け完了後、**フロントスポイラー及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。**
- 取り付け完了後、**最低3時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意して下さい。  
(両面テープの剥がれ、車両バンパーとフロントスポイラーとの間に隙間が発生するおそれがあります。)



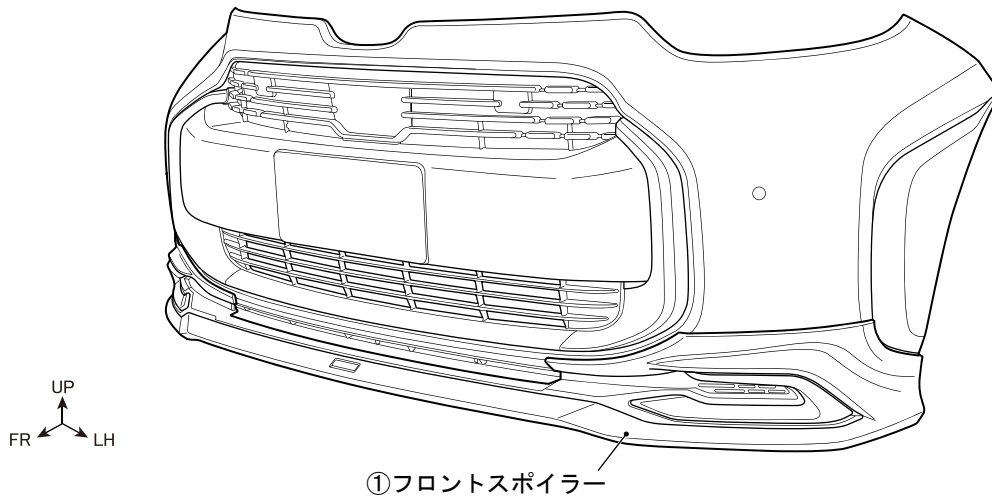
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	位置出しゲージ CTR	1
③	位置出しゲージ RH/LH	各 1
④	スクリベット	2
⑤	クリップナット	2
⑥	PACプライマー (N-200)	1
⑦	PACプライマー (K-500)	1

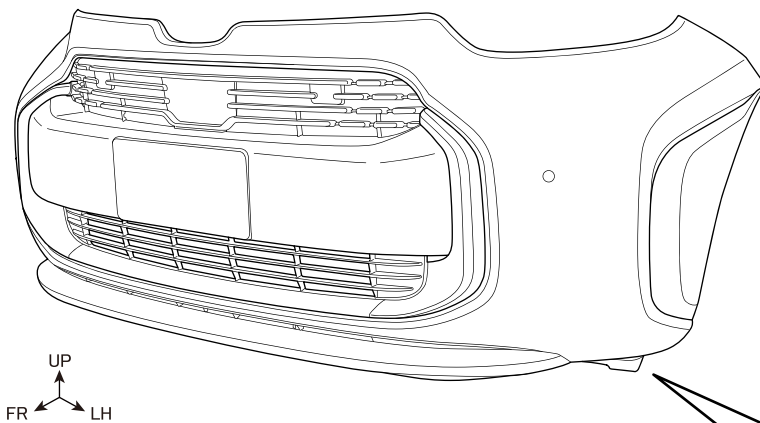
取付概要



# 取付手順

(1) 部品の取り外し

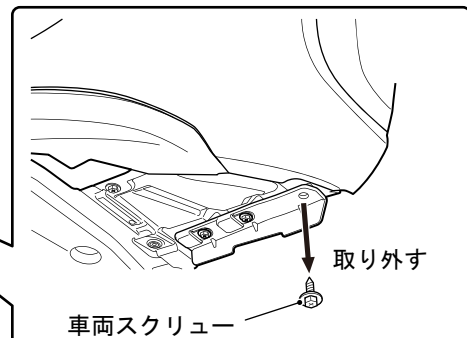
LH図示 ※RHも同様に



1. 車両スクリューを取り外す。  
(左図参照)

アドバイス

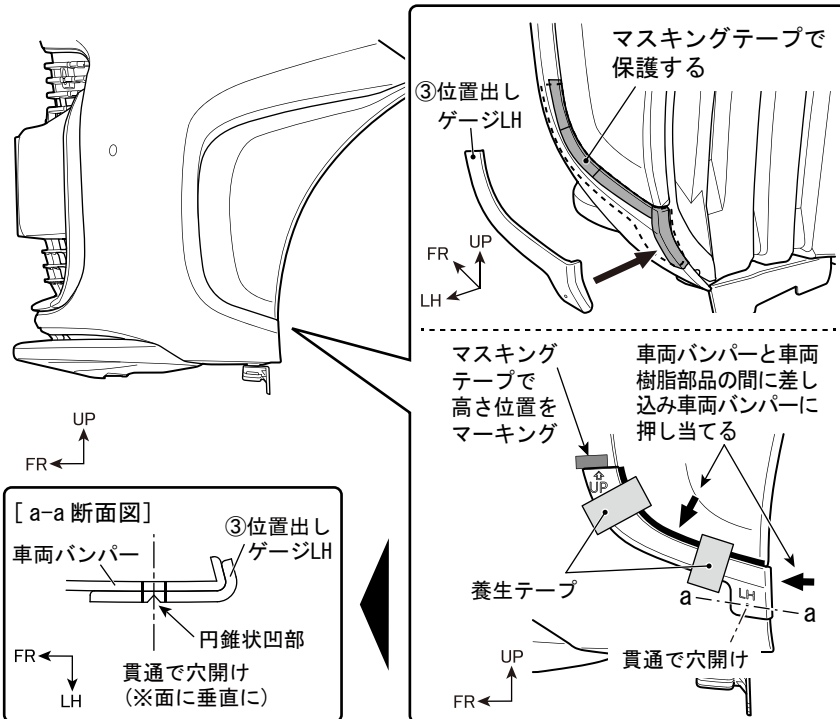
取り外した車両スクリューは再使用しますので紛失しない様に注意して下さい。



## (2) 仮組とプライマーの塗布

LH図示 ※RHも同様に

ゲージで①フロントスポイラー取付の位置出しを行ないます

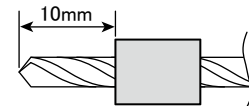


1. 車両の図の箇所をマスキングテープで保護し、③位置出しゲージLHを車両バンパーと車両樹脂部品の間、差し込み、車両バンパーに押し当て養生テープで固定し、上面端末に合わせて高さ位置のマーキングをする。円錐状の凹部の位置で、車両バンパーと共に貫通で、まず下穴φ3.0を開ける。下穴を開けた後、③位置出しゲージLHを外し、車両バンパーに開けた下穴に合わせφ6.0 → 本穴φ10の順で穴を開ける。

(左図参照)

### アドバイス

傷つき防止のため、ドリル先端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



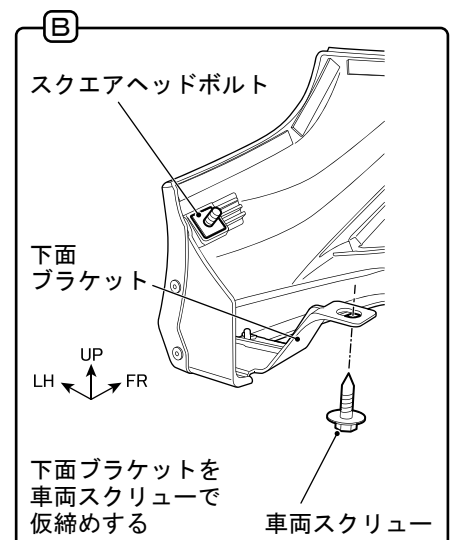
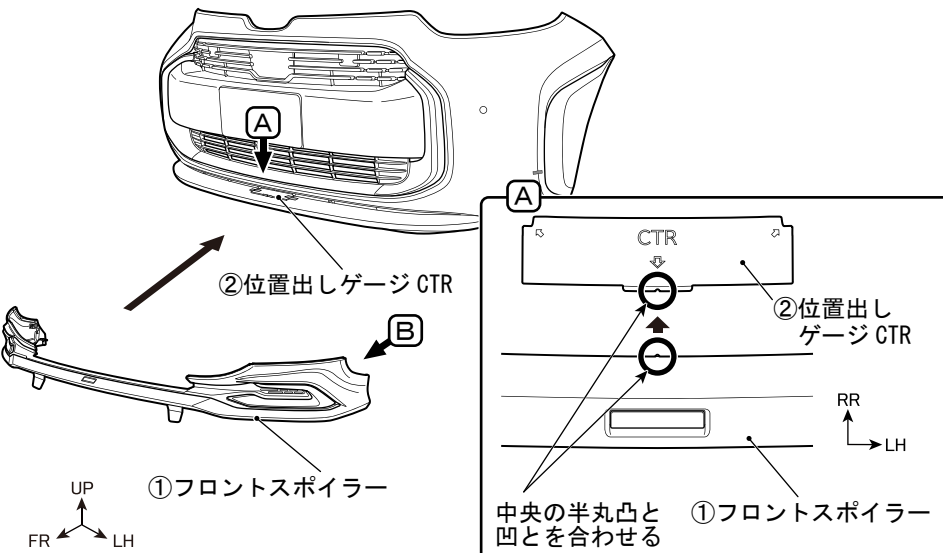
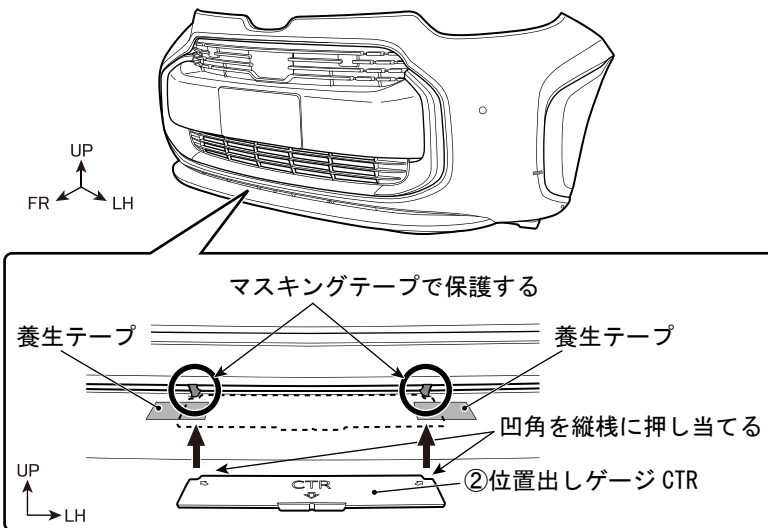
※穴のバリを除去して下さい。

2. 車両ローアバンパーの縦線をマスキングテープで保護し、②位置出しゲージCTRの凹角を縦線に合わせて押し当てて、養生テープで固定する。

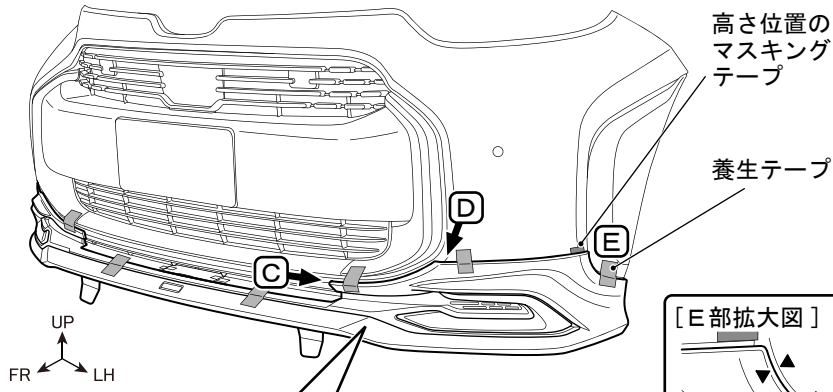
(左図参照)

3. ①フロントスポイラー中央の半丸凸を②位置出しゲージCTRの凹に合わせて、手順1で開けた穴に左右のスクエアヘッドボルトを通して車両バンパーに被せ、下面ブラケットを車両スクリューで仮締めする。

(下図参照)

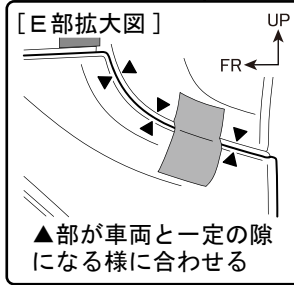
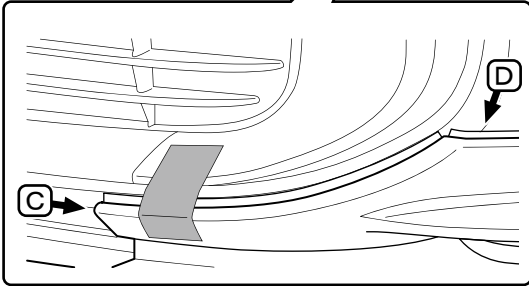


LH図示 ※RHも同様に



高さ位置の  
マスキング  
テープ

養生テープ



[E部拡大図]

▲部が車両と一定の隙  
になる様に合わせる

[C部拡大図]

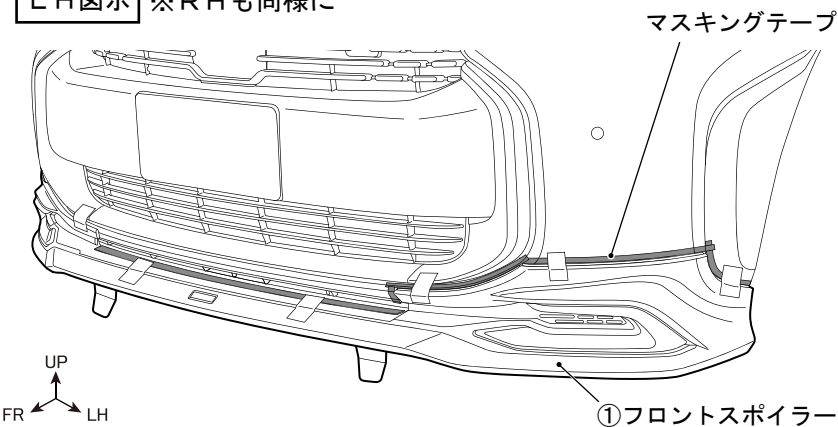
UP  
LH  
FR

太線部を車両の  
形状に合わせる

[D部拡大図]

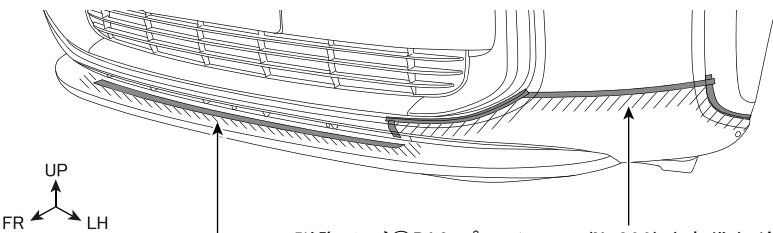
太線部を車両の  
形状に合わせる

LH図示 ※RHも同様に



マスキングテープ

①フロントスポイラー



脱脂及び⑥PAC プライマー (N-200) (赤袋) 塗布範囲  
※ ボディ色部分

脱脂及び⑦PAC プライマー (K-500) (青袋) 塗布範囲  
※ 素地部分

4. 中央の凹凸の合わせがズレない様に注意してC、D部を車両の形状に合わせる。

高さ位置のマスキングテープにモールの先端を合わせ、E部端末が車両と一定の隙になる様に合わせて養生テープで仮固定する。

(左図参照)

5. ②位置出しゲージCTRを外し、①フロントスポイラー中央部の端末、側面の端末、上部のモール先端に合わせて、脱脂及びプライマー塗布のためにマスキングテープを貼り付ける。

(左図参照)

6. ①フロントスポイラーを取り外し、両面テープ貼り付け部(左図斜線部)を一方方向に拭いて脱脂し、ボディ色部分に⑥PAC プライマー (N-200) (赤袋)、素地部分に⑦PAC プライマー (K-500) (青袋) を塗布する。

(左図参照)

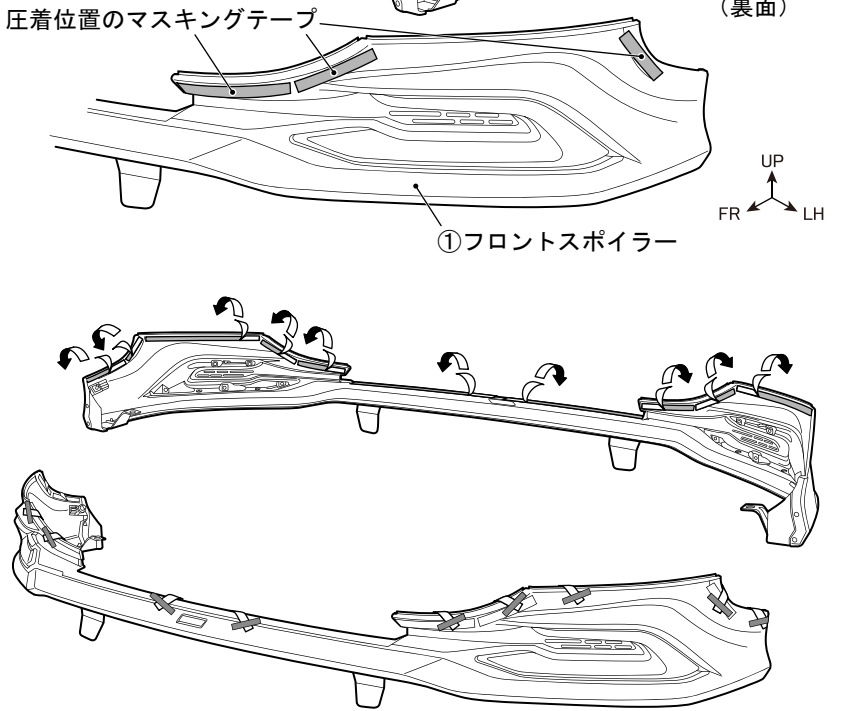
7. 脱脂及びプライマー塗布のためのマスキングテープを全て剥がす。

※高さ位置のマスキングテープは剥がさないで下さい。

### (3) 取付準備

LH図示 ※RHも同様に

圧着位置のマスキングテープ



① フロントスポイラー

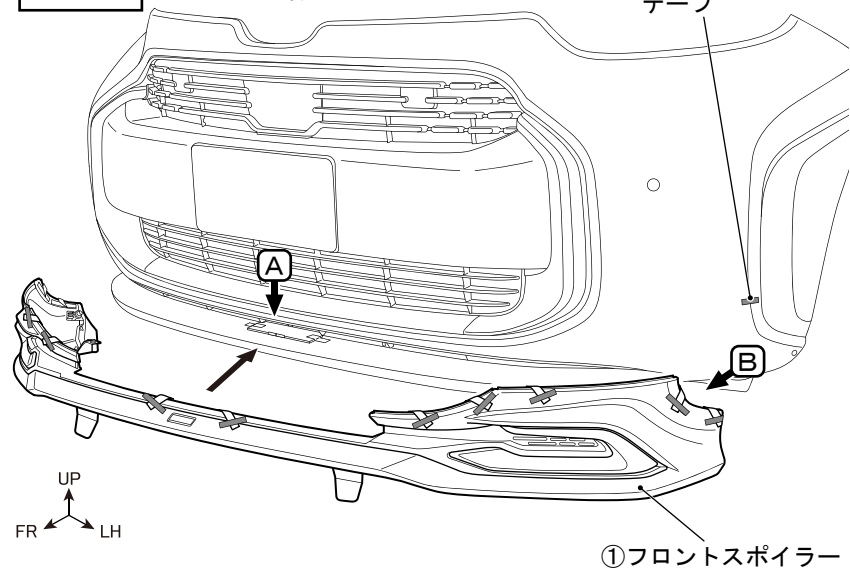
1. 左図破線部の両面テープは①フロントスポイラーの端から離れているため、圧着の際に位置が分かる様に、両面テープの反対側の位置で表側にマスキングテープを貼り付ける。  
(左右各3箇所)

2. 両面テープ離型紙を一部剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。  
(左図参照)

### (4) 取り付け

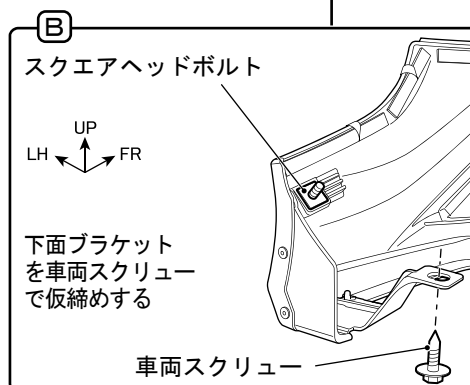
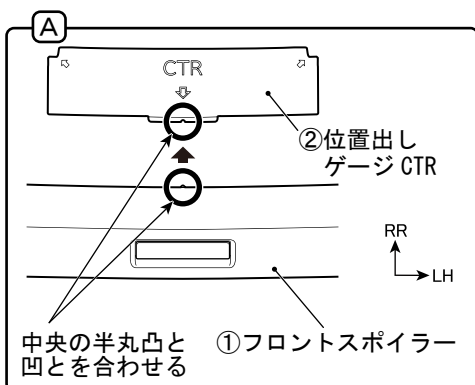
LH図示 ※RHも同様に

高さ位置のマスキングテープ

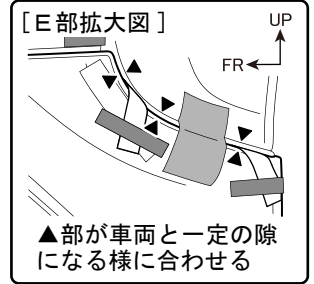
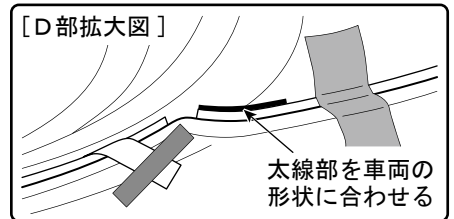
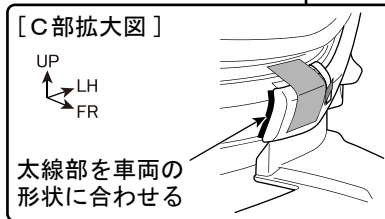
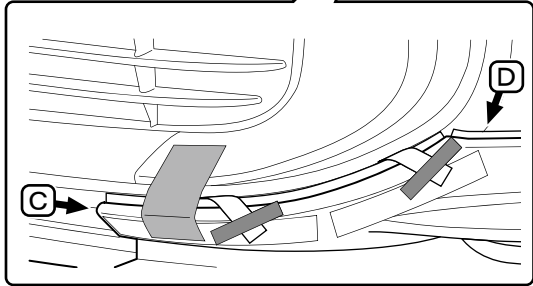
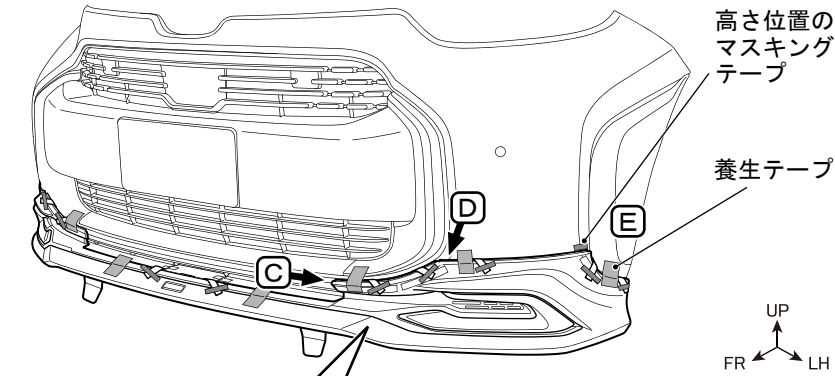


① フロントスポイラー

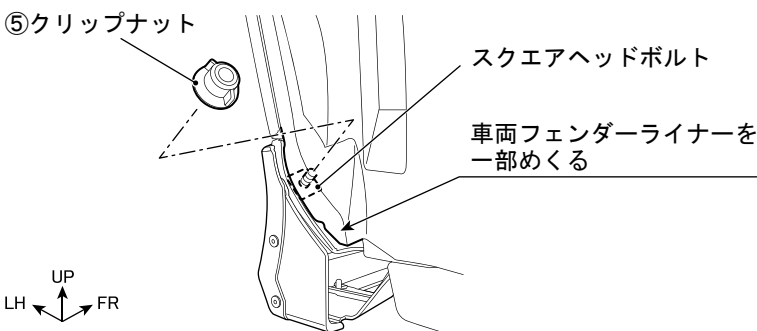
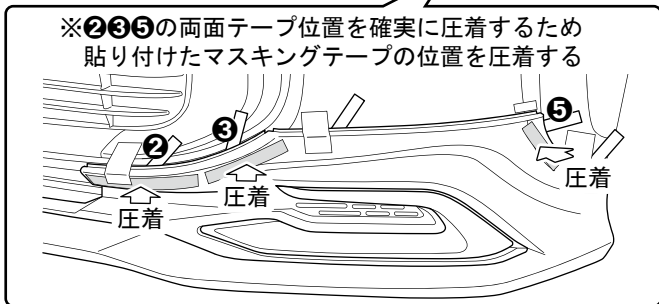
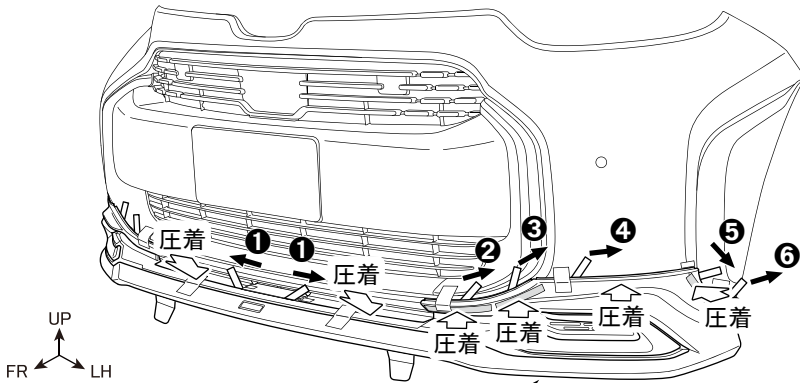
1. ②位置出しゲージCTRを、仮組の手順で再度取り付け、①フロントスポイラー中央の半丸凸を、②位置出しゲージCTRの凹に合わせ、仮組時に開けた穴に左右ヘッドボルトを通して車両バンパーに被せ、下面ブラケットを車両スクリューで仮締めする。  
(左図参照)



LH図示 ※RHも同様に



※離型紙を引き抜く順序（左右均等に）



2. 中央の凹凸の合わせがズレない様に注意してC、D部を車両の形状に合わせる。

高さ位置のマスキングテープにモールの先端を合わせ、E部端末が車両と一定の隙になる様に合わせて養生テープで仮固定する。（下図参照）

3. 左右のバランス、隙、ズレがない事を確認して①から順に両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、圧着する。（左図参照）

※②③⑤の箇所は(3) 取付準備で貼り付けたマスキングテープの位置を確実に圧着して下さい。

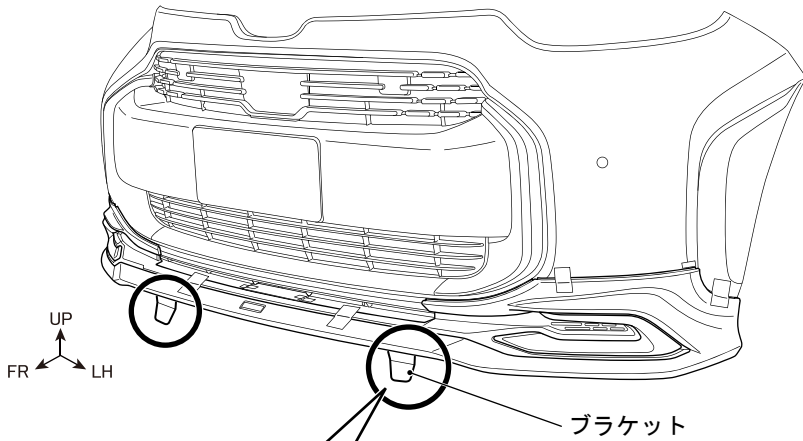
※離型紙を引き抜く際に①フロントスポイラーの取り付け高さ、隙間が変わらない様に注意して下さい。

アドバイス

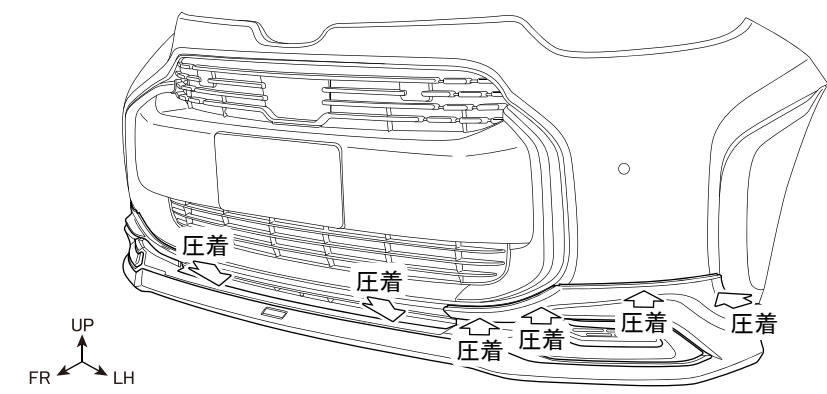
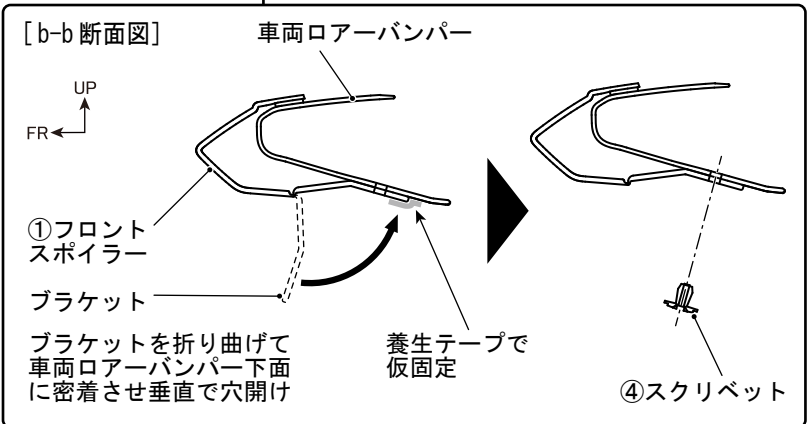
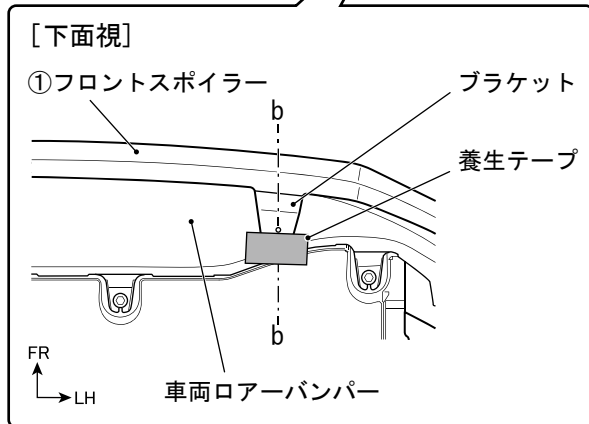
- ・両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。車両バンパーに付かない様に気を付けて作業をして下さい。
- ・離型紙が途中で切れない様に、①フロントスポイラーを少し浮かしながら離型紙を引き抜いて下さい。
- ・両面テープの圧着は、49N(5kgf/cm<sup>2</sup>)程度の力で行なって下さい。

4. 車両フェンダーライナーを一部めくり車両バンパー裏側から⑤クリップナットをスクエアヘッドボルトに取り付けて奥まで差し込み、締め込む。車両フェンダーライナーを元に戻す。（左図参照）

LH図示 ※RHも同様に



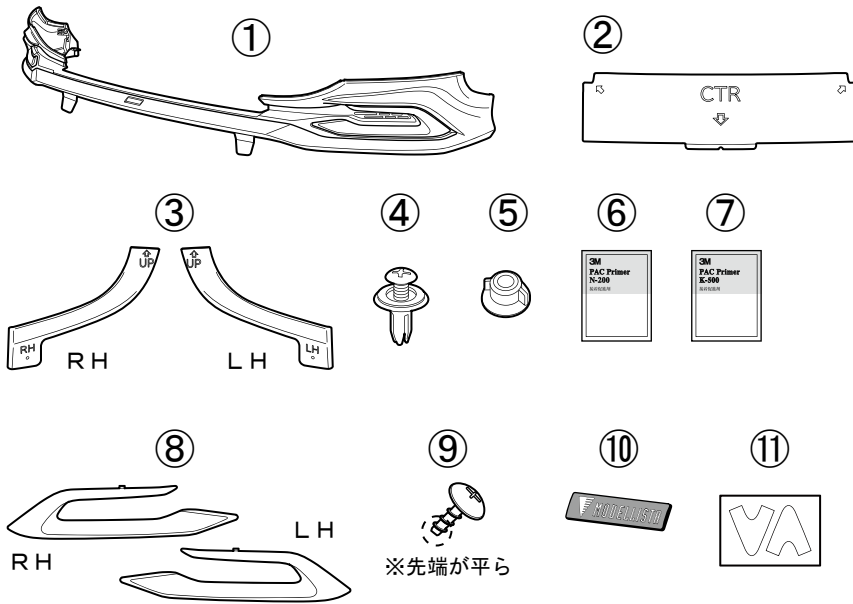
- ①フロントスポイラー下面のブラケットを折り曲げ、円錐状の凹がある面を車両ローアバンパー下面に密着させ、養生テープで仮固定する。円錐状の凹部の位置で、車両ローアバンパーと共に貫通で下穴φ3.0 → 本穴φ6.5の順で穴を開ける。バリを除去し、④スクリベットで固定する。  
(左図、下図参照)



- ②位置出しゲージCTRを外す。
7. マスキングテープ、養生テープを全て剥がす。
8. 取り付けした両面テープ貼り付け位置を再圧着する。  
(左図参照)
9. 両面テープ貼り付け後、3時間以上放置してから仮締めめの車両スクリューを本締めする。

# フロントスポイラー素地品の塗装手順

## 構成部品

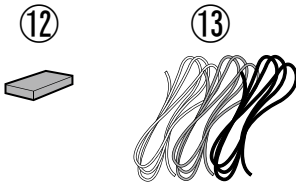


No.	品名	個数
①	フロントスポイラー	1
②	位置出しゲージ CTR	1
③	位置出しゲージ RH/LH	各1
④	スクリベット	2
⑤	クリップナット	2
⑥	PACプライマー (N-200)	1
⑦	PACプライマー (K-500)	1
⑧	メッキパーツ RH/LH	各1
⑨	Bタッピングスクリュー (M4×10)	10
⑩	エンブレム	1
⑪	塗り分けマスキングテープ (2枚セット)	1
⑫	エポキシシーラー	2
⑬	エンドモール	グレー:1 グレー:1 ブラック:1

※ ⑨メッキパーツ、⑩Bタッピングスクリュー (M4×10) は、  
①フロントスポイラーに仮固定されています。  
塗装前に外して下さい。

## ⑬エンドモール推奨使用色

色番号	色名称	モール色
070	ホワイトパールクリスタルシャイン	ライトグレー
089	プラチナホワイトパールマイカ	ライトグレー
202	ブラック	ブラック
1L7	ダークグレー	ブラック
3U4	スカーレットメタリック	ブラック
4V6	ベージュ	グレー
6X3	アーバンカーキ	グレー
8W2	グレイッシュブルー	グレー
2WR	スカーレットメタリック×ダークグレー	ブラック
2WU	アーバンカーキ×ダークグレー	グレー
2WV	グレイッシュブルー×ダークグレー	グレー



## 塗装作業

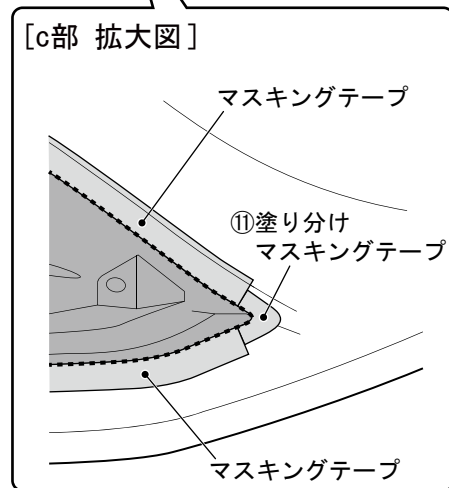
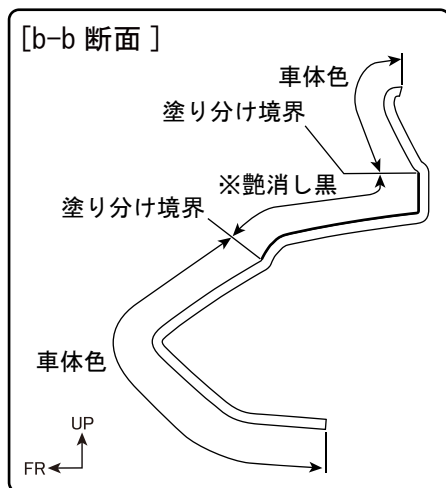
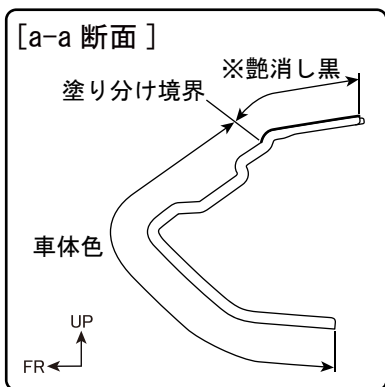
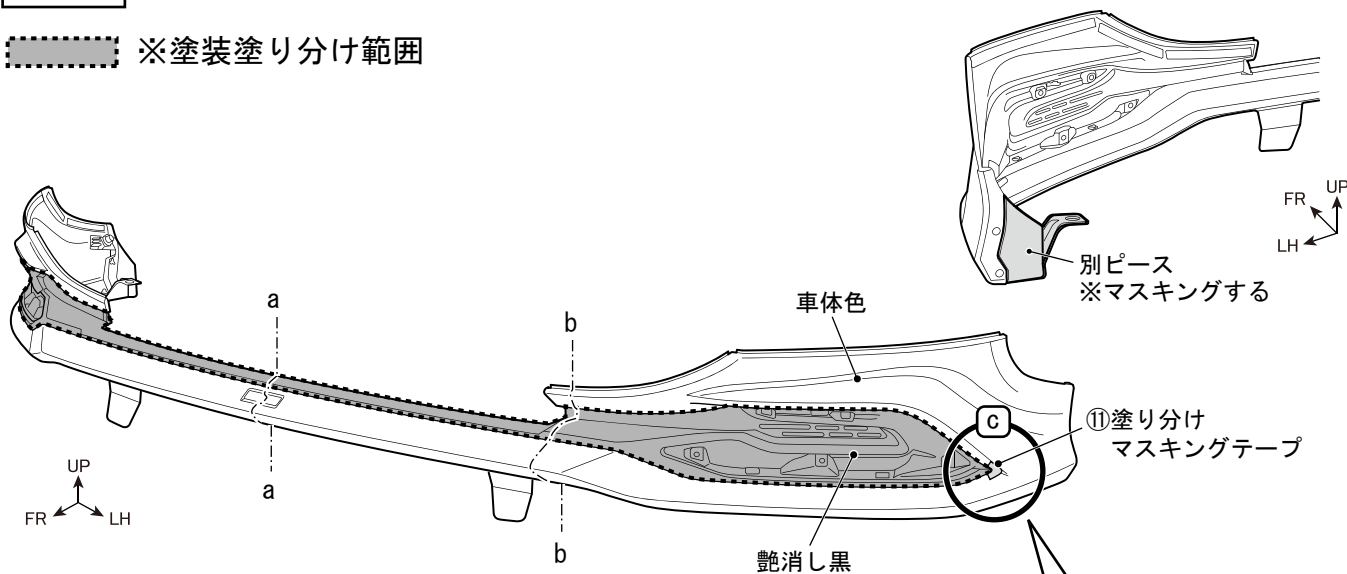
1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行なう。
2. 製品に貼り付けてある両面テープをマスキングする。
3. プライマー塗装を行なう。

※本製品の素材は> P P <です。

4. 上塗り塗装を行なう。  
◎注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用下さい。
5. 乾燥。  
◎注記：乾燥温度は、成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させて下さい。

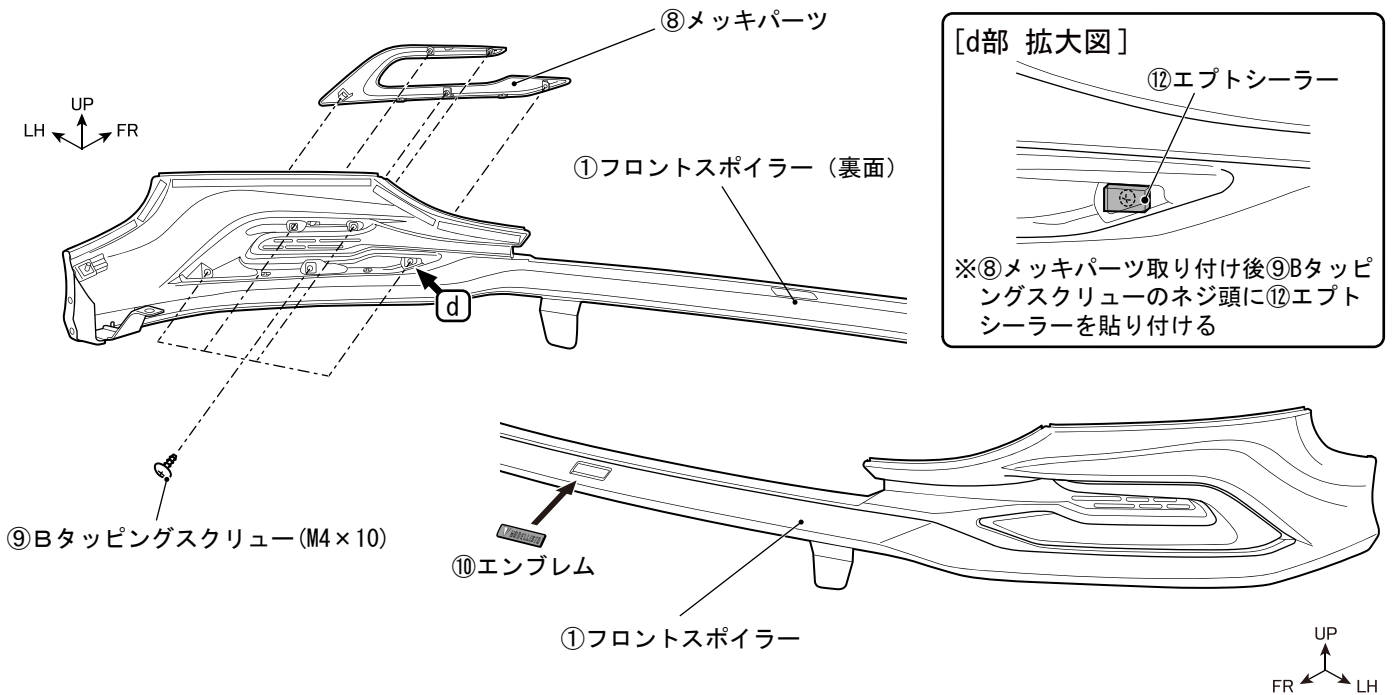
LH図示 ※RHも同様に

※塗装塗り分け範囲



## メッキパーツの取り付け作業

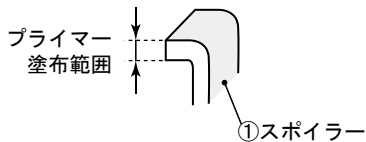
- 塗装完了後、①フロントスポイラーに⑧メッキパーツを、仮固定と同様に⑨Bタッピングスクリューで仮締めする。(10箇所)  
LH/RHのバランスを確認して本締めする。  
[d]部の⑨Bタッピングスクリューのネジ頭に⑫エプトシーラーを貼り付ける。



## エンドモールの貼り付け作業

- 塗装終了後、⑬エンドモールを貼り付ける部分を脱脂し、⑦PACプライマー(K-500)を塗布する。

### PACプライマー(K-500)塗布範囲



### アドバイス

- ⑦PACプライマー(K-500)は①フロントスポイラー取り付け時に再使用します。揮発性が高いため、速やかに袋に戻し揮発を抑えて下さい。
- ⑦PACプライマー(K-500)は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするか、はみ出したプライマーは、イソプロピルアルコール(IPA)等で拭き取って下さい。
- ⑦PACプライマー(K-500)塗布後は、常温で10分以上放置し乾燥させて下さい。

- 下図の要領で⑬エンドモールを貼り付ける。

### アドバイス

- エンドモールを引っ張りながら貼ると、極端に剥がれやすくなります。絶対に引っ張りながら貼らないで下さい。
- エンドモールは必ず奥まで差し込んで下さい。
- 貼り付け後、十分に圧着して下さい。

奥まで押し込む



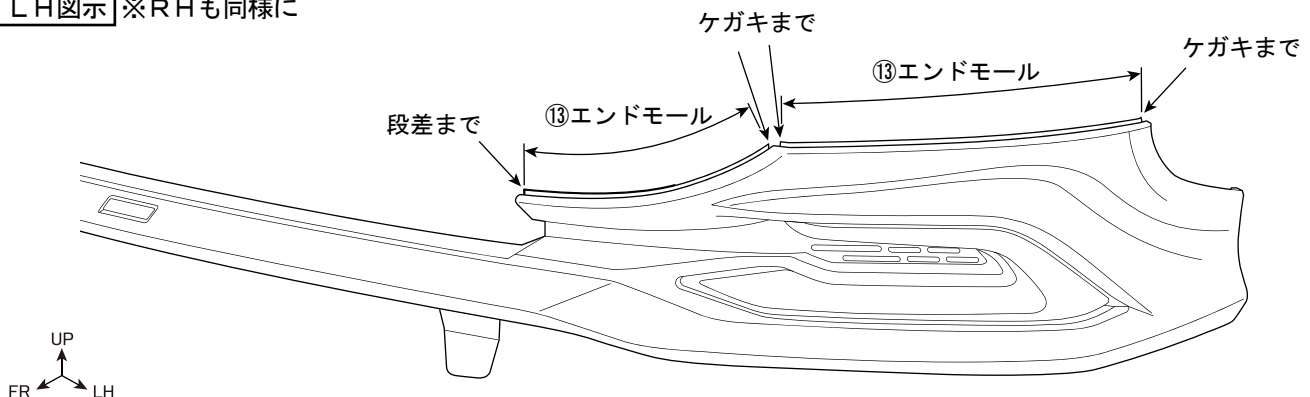
隙間が空いている



傾いている



### LH図示 ※RHも同様に



## 補修キット両面テープ貼り付け

補修キットを使用して①フロントスポイラーの再取付を行なう際は、下図を参考に両面テープを選択し貼り付けて下さい。

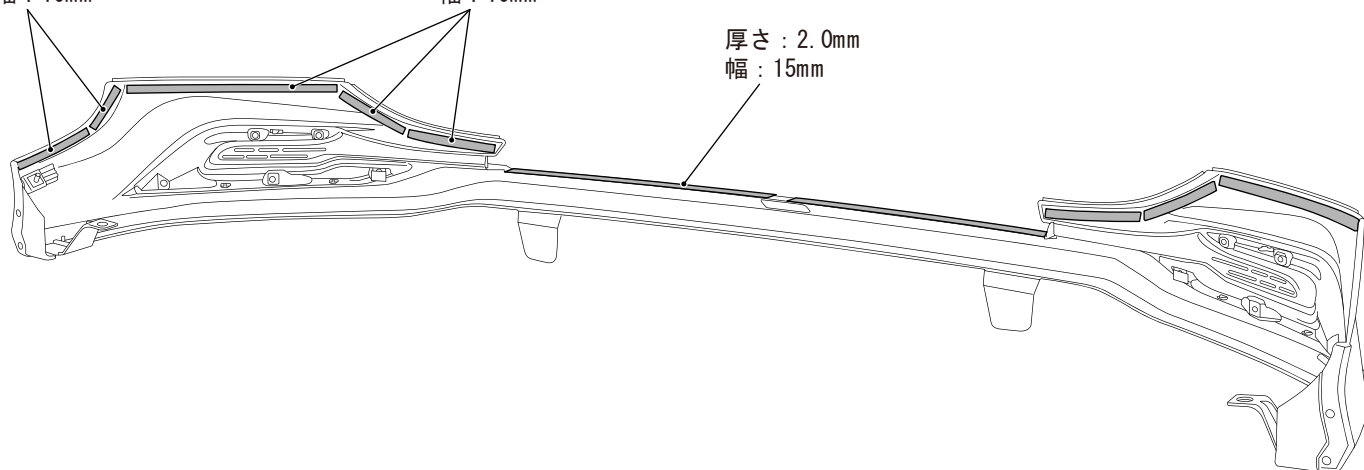
LH図示 ※RHも同様に

厚さ : 2.5mm  
幅 : 10mm

厚さ : 2.5mm  
幅 : 10mm

厚さ : 2.0mm  
幅 : 15mm

UP  
LH ← → FR



# 脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。  
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を  
解説動画でご覧いただけます。  
右のQRコードよりアクセスのうえ  
ご確認ください。

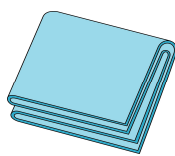


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
  - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
  - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

## ■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



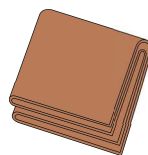
脱脂剤用  
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用  
ウエス



WET 用  
ウエス



イソプロピルアルコール(IPA)  
純度 70%程度を推奨  
※純度 100%はモールを痛めるため  
使用しないこと

## ■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。  
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠ 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

👉 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー  
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用  
燃料用として販売されている  
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは  
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。  
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。  
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

## ★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

### ■ 脱脂作業前に

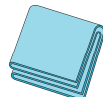
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。  
汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。  
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

### ■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



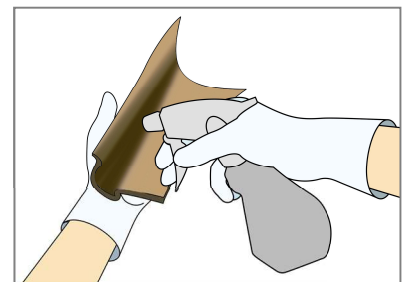
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

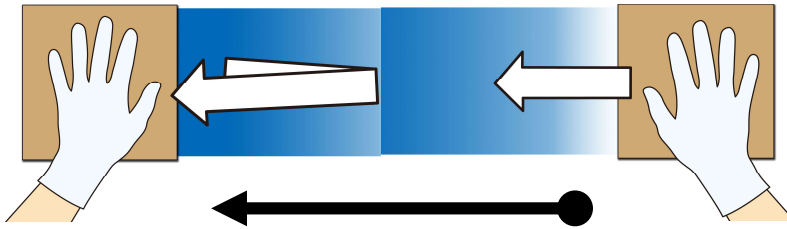
● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで  
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

②【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に  
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち  
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

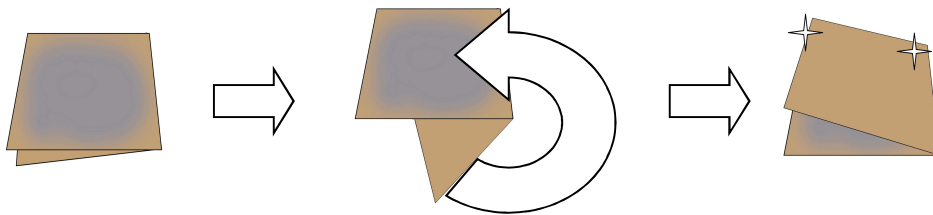
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを  
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が  
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3～5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し  
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。



汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に  
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に  
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。  
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。  
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に  
したがって行ってください。